



# 亀中だより

No.21 令和3年9月27日 文責:岡田

For The Students!

## 平常授業再開 ~STOP 感染拡大! STOP コロナ差別!~

9月27日、学校に平常授業が戻ってきました。とはいえまだ緊急事態宣言継続中です。学校内の感染対策をみんなの手でやり抜き、この“あたりまえ”の生活を継続できるよう協力していきましょう。

そして、この第5波であらためて「感染は誰にでもあり得ること」がわかったと思います。我々は今一度コロナ対策の原点に立ち返り、感染対策はもちろん、コロナ対策の一つとして「コロナ差別をしない」という意志をはっきりと持っていたいものです。

1. 医療従事者やエッセンシャルワーカーに感謝やエールを。
2. 正しい情報を確認し、冷静な対応のもと、感染者とその家族に思いやりを。
3. 自分の言葉や行動が差別につながっていないか…。悪意のない言動が人権侵害になることも。

### 池袋暴走事故に思うこと…

社会的にも大きな関心を呼んだ池袋暴走事故で東京地裁の実刑判決を受けた高齢の被告が控訴しないことを表明しました。ご存じの方も多いことでしょう。この事件や判決がどうかはさておき、愛する奥さんと娘さんを失ったこの事故の遺族である松永拓也さんが被告へ送ったコメント(ブログ)には心を揺さぶられます。あえてコメントは控えます。ご一読ください。

松永拓也さんのブログより:(抜粋)

私にこの先何年も、人を恨み続ける道を歩ませないで欲しい。2人の愛してくれた、私らしい私でいさせて欲しいのです。あなたの法律上の無罪を主張する権利は尊重しています。正直、私たちはそれにずっと苦しめられてきましたが、罪と罰から逃れようとする事も一定の理解はします。ですから、このブログは怒りを込めた命令のような意味ではなく、あくまで私の願いを綴るものです。

一審の判決が出たら、もう辞めにしませんか。こんな何も生み出さない無益な争い、もう辞めませんか。

妻が私に教えてくれた、他者に対する愛を、私に残された人生で実践していきたいのです。そして、妻と娘が愛してくれたままの自分らしくありたいのです。

そのために、私はあなたと争い続けるためにエネルギーをこれ以上使いたくないのです。そんな事より、交通事故をひとつでも無くすための活動に全力を注ぎたいのです。

### PTA実行委員会が開催されました



8月25日、9月14日にPTA実行委員会が開催されました。議題は会員のみなさんにご意見をお伺いした「組織の見直し案」でした。会長はじめ本部役員のみなさんが熱心に意見交換していただき、学校としてもとても心強く感じました。検討した内容は、学校のPTA書記の方から、追ってご報告されることになります。

なお、9月14日の会議では、本校の「校則」についてもご意見をお伺いいたしました。LGBTQへの理解が社会で進む中で、制服や頭髪について生徒会を中心に取り組んできてくださっています。これに加えて、県立高校等の校則が見直されてきていることを受け、本校でもさらに検討していきます。

